

自動車整備科・一級自動車工学科			2025年		授業計画	
時 期	2 年A巡	単元	実習	教科名	シャシ6（A T）	
科 目	自動車整備	教科書等 持参品	2 級ガソリンジーゼル自動車 シャシ編		発行日	2024.4.16
			日産3級整備テキスト AT編			
総時限	32時限		実習ノート		教科担当	吉田
必要時限	3 2時限					人見
指導教員の実務経験						
自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの着脱、分解、組立、点検等について指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①オートマティクトランスミッション（FR）の構造、機能を理解する。 ②オートマティクトランスアクスル（FF）の着脱が出来る。 ③AT車のATの点検、整備が出来る。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）						
①オートマティクトランスミッション（FR）の構造、機能が理解出来るようになる。 ②オートマティクトランスミッションのトルクコンバート特性、プラネタリギヤユニットの機能が理解出来るようになる。 ③オートマティクトランスミッションの自動変速制御、動力伝達順序が理解出来るようになる。 ④オートマティクトランスアクスル（FF）の着脱が安全に出来るようになる。 ⑤AT車のATの点検、整備、不具合原因の判定が出来るようになる。						
学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1）履修試験での学習評価 実技試験 1 5 点、筆記試験 8 5 点にて総合評価する。 整備科、S P M科 6 0 点以上で合格、工学科 7 0 点以上で合格。						
2）出題試験項目						
1．実技試験 2．筆記試験						
①A/T（FR）の構成部品。 ①A/T（FR）の構成部品。						
②A/T（FR）の構造、機能。						
③A/T（FR）の動力伝達順序。						
準備学習						
事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。 実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。						

